



配達ごとにGHG排出量を削減するプラハ

チェコ共和国・プラハ

概要

プラハでは、市内の物流会社とともに、市の駐車場に試験的に駐輪場を設置する取り組みを展開している。この駐輪場により、各社は電動自転車を使って1ヵ月あたり平均6,500個の小包を市内で配達し、交通渋滞と温室効果ガス(GHG)排出量を削減するとともに、化石燃料で駆動するバンによる輸送を代替して大気質を改善することが可能になった。

荷渡しの持続可能性を向上させる試験運用

プラハでは、COVID-19対策のロックダウンにより、物流会社による配送量が急増していた。内燃機関車による排出量の増加は同市における排出量や市の中心部で見られる混雑の削減に向けた市の長期的な取り組みに課題を突き付けている。このため、プラハ市は2020年6月に駐車場を配達用の駐輪場に変えることを決定した。

「Depot.Bike」と命名されたこの試験運用の目的は、同市の中心部に届けられている小包のうち、バンにより配達されているものの一部を電動カーゴバイクによる配達へと転換することである。これにより市の中心部で発生している交通渋滞を緩和し、騒音、大気汚染、GHG排出量を削減し、歩行者の環境を改善することができる。二つ目の目的は、交通手段としての自転車に対する受容性を高めるために住民の間で行動の変容を促すことである。自転車が多様な物流産業の中で然るべき地位を占めていることを示すことで、プラハ市は自転車のインフラ整備を進める事に対する支持を得ようとしている。駐輪場はチェコ共和国では初めて設置されたものであったため、プラハ市は試験運用という形を通してまず小規模でのモデルの運用を試みている。

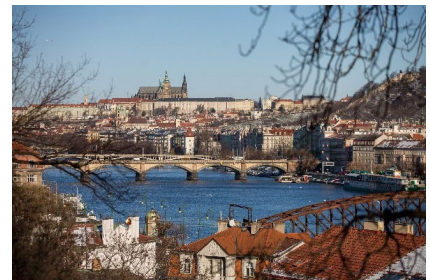
駐輪場の建設

空間開発と交通を担当する副市長から早い段階で政治的な支持を得た後、プラハ市役所は、試験運用を構想から現実のものへと変えるために必要なすべての市の機関やステークホルダーと連携した。プラハ計画開発研究所(The Prague Institute of Planning and Development; IPR Prague)は、駐輪場について初期フィージビリティスタディを実施した。駐輪場の設置に適した場所を見つけることが最初の課題であり、市が所有しつつも十分活用されていない土地であり、中心部に位置し、各物流会社が倉庫を構えている郊外からも容易にアクセスできる場所である必要があった。



© IPR Prague

プラハ



© IPR Prague

<p>人口: 1,309,000人 (2019年)</p>	<p>面積 496 km²</p>
<p>首長誓約署名年: 2015年</p>	<p>CO₂排出削減目標: 2030年までに 45%削減</p>

プラハ技術道路庁 (Prague Technical Road Administration)¹ が提案した駐輪場候補地の中から「Florenc」が選ばれ、同局からプロジェクトへの初期投資として330万CZK (約13万ユーロ)が提供された。

プラハ技術道路庁とチェコ発の電動自転車会社による管理の下、プロジェクトの承認から5ヵ月以内に駐輪場の試験運用が始まった。Depot.Bikeはプラハ市の郊外にある企業の倉庫から発送された物品の中継地点として機能する。この取り組みに参加した8つの物流会社それぞれに、駐輪場内で物品を保管するためのコンテナが割り当てられた。そこから配送業者が物品を受け取り、電動カーゴバイクに乗せ、市の中心部にいる受取人の元へ運ぶ。配送業者は駐輪場を出発地として1日あたり80個の荷物を配達できる。

駐輪場が立地している土地は、物流会社8社にはほぼ無償で提供されている。各社とも駐輪場の運営費を賄うため費用を負担し、それによりプラハ市がプロジェクトを財政面から支え続ける必要性を排除し、事業として自立したプロジェクトになるというループを生み出している。物流会社にとって、駐輪場は小包の配達をより持続可能なものにしてEコマースの急成長、市の中心部における駐車空間を確保することの厳しさ、車の乗り入れ制限、交通渋滞などに対応する機会をもたらしている。

このプロジェクトは、2021年11月にプラハ市のSmíchov地区に二つ目の駐輪場を開設するに至るほどの成功を見せている。

1. チェコ語で *Technická správa komunikací hl.m. Prahy, a.s.* として知られるプラハ市が所有する企業

内燃機関車による配達の削減

さまざまなセクターが協力した結果、駐輪場プロジェクトは都心から大型バンやトラックを排除し、大気汚染や騒音公害を直接減らすとともに、都市の脱炭素化にも貢献している。2020年11月にプロジェクトの運用を開始して以来、約8万個の小包が配送され、自転車での走行距離は約4万1000キロメートルに上っている。

プラハの自転車(配達)文化の次のステップ

試験運用段階が成功したおかげで、プラハ市はプロジェクトを無期限で継続することを決定した。試験運用に参加した物流会社はすべてFlorencにある駐輪場を使い続ける。プロジェクトは小包を駐輪場へ届けることと自転車へ積み込むことの効率を高める方向へ進化し、電動自転車に新しい技術を取り入れている。駐輪場は将来には物流拠点へと拡大し、個人が徒歩で小包を受け渡しでき、小包が車両により移動しなければならない距離をさらに短縮させる予定である。駐輪場は軽電気自動車(電動カーゴバイクなど)における新しい技術を紹介する空間としても機能することを意図し、プラハ市の新たな自転車文化のシンボルとなることも重視している。Depot.Bikeは住民・物流会社の双方から熱意を持って受け入れられており、カーゴバイクは街の自転車交通におけるシームレスな一要素となっている。



主要
データ

月平均**6,500**個が自転車により市内で配達されている

カーゴバイクによる毎月の平均移動距離は**3,400 km**

40,714 kmを自転車で走行し、2021年に内燃機関車にとって代わっている

2021年にカーゴバイクで配達した小包の数合計**78,767**個



プロジェクトの資金調達

初期投資の資金源:
プラハ技術道路庁(Prague Technical Road Administration)

総額:
€130,000(330万CZK)
公用地は物流会社に無償で提供
駐輪場の運営費用は物流会社が負担



連絡先

プロジェクトの詳細につきましてはこちらまでご連絡ください:
Judita Eisenberger, International Relations Specialist,
Prague Institute of Planning and Development (IPR Prague),
eisenberger@ipr.praha.eu

参考リンク

- ▶ [プラハの配達用駐輪場の記事\(2021\)](#)
- ▶ [プラハ計画開発研究所による記事](#)
- ▶ [プロジェクトに関する短い動画\(YouTube\)](#)